

指導案

かいてみよう！1～3

ひらがなやカタカナの単語の読み書き教材です。学習レベルに合わせて教材が作成できます。

こんな子どもたちへ

- ・ひらがなやカタカナの読み書きにつまずきがある子どもたち
- ・ひらがなやカタカナの読み書きを発展的に学びたい子どもたち

ねらい

- ・ひらがなの単語の読み書きができる。
- ・カタカナの単語の読み書きができる。

使い方

かいてみよう！1

3文字の教材です。



かいてみよう！2

6文字の教材です。



かいてみよう！3

文字数無しの教材です。



[学習レベルに合った教材作成方法]

- ・文字を書くマス大きさや、書きはじめの位置の目安となる補足線（点線）は、障害を持つ子どもにとってはとても重要です。「かいてみよう！1」、「2」、「3」の順番に進めましょう。
- ・問題のイラストは、子どもの興味のある「動物」や「乗り物」などの仲間を意識して選びましょう。
- ・ひらがなとカタカナは分けて出題するといいでしょう。まずは、ひらがなで音と形（読み書き）を習得し、ひらがなをヒントにカタカナにつなげます。
- ・特殊音節は、「きゃ・きゅ・きょ」など拗音、小さい「っ」の促音、「おとうさん」など長音に分けてあげましょう。ひらがなの特性を一つずつ習得することが、次の学習への意欲につながります。

[展開]

- ・「ねじれた音」などテーマを決めて、子どもと一緒に教材作成をしましょう。絵を見ながら、「これ、名前はなにかな？」と一緒に考えることで、教材への愛着と答えやすさで子どもの学習意欲につながります。また、教材をやらされている感じから解放されます。